

令和5年度 大分県景観副読本作成業務委託 仕様書

第1条 業務の目的

良好な景観の保全・形成を図るには、地域の住民にその地域の景観の価値や自らの役割について、認識してもらうことが重要である。さらに、景観に対する知識を高め、主体的に行動する人材を育むためには、子どもから大人まで様々な世代を対象にあらゆる場所で景観に関する学びを促していくことが必要である。

今回は子どもに着眼し、小さい頃から身近な景観に対する意識を高めてもらうため、学校教育等を通じ本県の持つ美しく豊かな自然環境などで形作られる「おおいたらしい景観」の価値に対する「気づき」を促すことができる景観副読本の作成を目的とする。なお、この副読本は小学校におけるPCタブレット導入による教育環境に適応するため、デジタル化した副読本（以下、デジタル副読本）とし、この教育環境を生かすことができるものとする。

第2条 業務内容

業務内容は以下のとおりである。

(1) 計画・準備

副読本作成にあたっての、計画・準備を行う。

子どもたちにとって身近な景観の情報を提供するため、県下各地の景観やその成り立ちなどの情報を含んだものとする。また、新学習指導要領に沿った内容とすること。

(2) 情報収集・整理

ア 使用する写真・資料等については、委託者が所有する素材は委託者が提供するものとする。ただし、不足する物については、受託者が準備すること。

イ 取材・写真撮影を行なう際にはあらかじめ関係機関と十分な調整を行ない、撮影許可ほか必要な手続き及び一切の業務を行なうこと。

(3) 企画構成

ア 小学5、6年生を対象とし、主に総合的な学習の時間における教材として企画すること。

イ 副読本を活用した景観教育の際に、ワークショップやグループワーク等への活用を踏まえた内容とすること。

ウ 学校に配備されたPCタブレットを、子どもたちが最大限生かし活用出来るデジタル副読本とすること。なお、デジタル副読本のファイル形式は原則PDF形式とすること。

エ 文章とともにイラスト、写真等を効果的に用い、理解しやすく視覚的にわかりやすい表現とすること。

オ ア～エにより受託者が企画構成を提案し、委託者と協議のうえ構成を決定すること。

カ 副読本とともに副読本の概要版を作成すること。

(4) デザイン校正

学校で白黒印刷を行なう場合を想定し、白黒印刷であってもイラストや写真等の記載内容が判別できるものとする。

(5) 報告書の作成

副読本（A4版、フルカラー、概要版含む）は、版下原稿データとして汎用性のある電子データで作成し、後日、委託者が更新等容易に加工できるよう、オリジナルデータ及びPDFデータで納品すること。

(6) 打合せ・協議

打合せ回数は3回程度とし、協議の上、変更できるものとする。初回及び成果品納入時の打合せには担当者が出席するものとする。また、打合せ用資料の印刷、電子データを提出すること

第3条 成果品の納品

(1) 県への納品物

本業務の成果品は以下のものとする。なお、作成した成果品の一切の権利は大分県に属するものとする。

ア 成果報告書（A4版、キングファイル製本）	1部
イ その他業務により生じた資料（イラスト、図、グラフ等）	1式
ウ 電子データ（CD-R、ア～ウに関する電子データ）	1枚

(2) 納品場所及び期限

場所 大分県土木建築部 都市・まちづくり推進課 景観・まちづくり班
期限 令和6年3月25日（月）

第4条 実務上の留意点

(1) 受託者は、本委託業務の全部または主要な部分を一括して第三者に委託してはならない。

ただし、あらかじめ委託者の承諾を得た場合はこの限りではない。

(2) 受託者は、本契約の調整、準備、実施等あらゆる事項に係る支払い業務を行なうこと。また、それらに係る費用は委託料に含むものとする。

(3) 本事業に関する事故やトラブルが発生した場合は、受託者の責任において処理するとともに、速やかに委託者に報告すること。

第5条 著作権等

受託者は、受託業務に係る成果物の全ての著作権（著作権法（昭和45年法律第48号（第27条及び第28条の権利を含む。）を委託者に無償で譲渡するものとし、著作者人格権に基づく権利行使を行なわないこととする。

また、受託者は成果物に係る全てについて、委託者の承諾を得ずに第三者に公表、貸与及び使用させてはならない。

第6条 機密保持

(1) 委託者及び受託者は、本業務における「機密情報」を、本契約に基づき相手方から提供を受ける技術情報及び行政の運営上の情報等で、次の各号に該当するものと定義する。

ア 秘密である旨が明示された文書、図面その他の有体物又は電子文書・電磁的記録として提供され

る情報。

イ 秘密である旨を告知した上で、口頭で提供される情報であって、口頭による提供後遅滞なく当該情報の内容が機密である旨を明示された書面により提供されたもの。

(2) 委託者及び受託者は、別添「機密保持及び個人情報保護に関する特記事項」に基づき互いに機密情報を善良なる管理者の注意義務をもって管理しなければならない。

第7条 個人情報の保護

受託者は、本業務を行なうに当たり取り扱う個人情報（個人情報の保護に関する法律第2条第1項に規定する個人情報をいう。）について、別添「機密保持及び個人情報保護に関する特記事項」に基づき、個人情報の適正な取扱いについて必要な措置を講じなければならない。

第8条 書類の提出

(1) 受託者は、委託契約書に定める書類のほか、委託者との協議等により指定された書類について提出しなければならない。

(2) 受託者が委託者に提出する書類で様式が定められていないものについては、受託者において様式を定め、提出するものとする。

第9条 その他

(1) 本仕様書は企画提案のためのものであり、実際の委託契約の仕様書とは異なる場合がある。

(2) 本仕様書の解釈に疑義が生じた場合、並びに定めのない事項については、委託者と協議のうえ定めることとする。